

評価基準

教 科	体 育	学 年	4 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動 体ほぐしの運動	4	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達の心と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。	・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・体ほぐしの運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
体づくり運動 多様な動きをつくる運動	2	・体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を使った動き、力試しの動きを身に付け、それらを工夫したり、組み合わせたりする。	・いろいろな多様な動きをつくる運動の行い方がわかる。 ・友達と一緒に運動したり用具を使って運動したりするなど、運動の行い方を選んでいる。 ・友達のよい動きを見つけている。 ・行ってみた運動の動きを変えたり、人数を増やしたりして行うなど、運動の行い方を工夫している。	・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたり	・多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりして

評価基準

教 科	体 育	学 年	4 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
				したことを友達に伝えている。	いる。
器械運動 マット運動	6	自分の力に合った技を身に付け、できる技の繰り返しや、組み合わせ技に挑戦する。	- マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 - 自分の力に合った回転系（前転など）や巧技系（壁倒立など）の基本的な技ができる。 - 基本的な技に十分に組み込んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前転（発展技：開脚前転） ○易しい場での開脚前転 ○開脚後転（発展技：伸膝後転） ○補助倒立ブリッジ（発展技：倒立ブリッジ） ○側方倒立回転（発展技：ロンドアート） ○首はね起き（発展技：頭はね起き） ○頭倒立	- 学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 - 技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 - 自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 - 見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	- マット運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 - マットなどの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 - 器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 - 互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 - 場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。
器械運動 鉄棒運動	6	鉄棒の技に挑戦したり、技を組み合わせたりして楽しむ。	- 鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 - 自分の力に合った支持系の基本的な技をすることができる。 - 基本的な技に十分に組み込んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたり	- 学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 - 技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 - 自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。	- 鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 - 鉄棒などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 - 器械・器具の準備や片付け

評価基準

教 科	体 育	学 年	4 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			することができる。 ○前回り下り（発展技：前方支持回転） ○かかえ込み前回り（発展技：前方支持回転） ○転向前下り（発展技：片足踏み越し下り） ○膝掛け振り上がり（発展技：膝掛け上がり） ○前方片膝掛け回転 ○補助逆上がり（発展技：逆上がり） ○かかえ込み後ろ回り（発展技：後方支持回転） ○後方片膝掛け回転 ○両膝掛け倒立下り	・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	を、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。
器械運動 跳び箱運動	6	・自分の力に合った「基本の技」を身に付けたり、「発展技」に挑戦したりする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系（開脚跳びなど）や回転系（台上前転など）の基本的な技をすることができる。 ・基本的な技に十分に組み込んだ上で、それらの発展技に取り組むことができる。 ○開脚跳び（発展技：かかえ込み跳び） ○台上前転（発展技：伸膝台上前転） ○首はね跳び（発展技：頭はね跳び）	・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・跳び箱、踏み切り版などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補

評価基準

教科	体 育	学 年	4 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。
走・跳の運動 かけっこ・リレー	6	いろいろなかけっこをしたり、きまりを工夫してチーム対抗のリレーをしたりする。	- かけっこ・リレーの行い方がわかる。 - スタート姿勢から素早く走り出すことができる。 - 真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。 - 走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。 - コーナーの内側に体を軽く傾けて走ることができる。 - 最後まで全力で走ることができる。	- かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 - かけっこやリレーのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、速く走るための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 8秒間走やリレーの仕方について考え、競走の規則やリレーの仕方を話し合っで決めたり、選んだりしている。 - かけっこ・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	- かけっこ・リレーに進んで取り組んでいる。 - きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 - 使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 - 勝敗を受け入れている。 - 互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 - かけっこ・リレーをする場所の危険物を取り除くとしている。

評価基準

教科	体 育	学 年	4 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					ともに、用具の安全を確かめている。
走・跳の運動 小型ハードル走	6	・いろいろなコースで、3歩のリズムで小型ハードルを走り越し、競走する。	・小型ハードル走の行い方がわかる。 ・インターバルの距離やいろいろな小型ハードルの高さに応じて調子よく小型ハードルを走り越すことができる。 ・一定の間隔に並べられた小型ハードルを一定のリズム（3歩のリズム）で走り越すことができる。	・3歩のリズムで調子よく走り越せるコースを作り、自分に合ったコースを選んでいる。 ・小型ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・小型ハードル走のポイントについて見合ったり、教え合ったりしている。 ・競走の仕方について考え、競走の規則を話し合っ決めてたり、選んだりしている。 ・小型ハードル走のポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・小型ハードル走に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・小型ハードル走をする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。
走・跳の運動 幅跳び	6	・短い助走で調子よく踏みきり、遠くへ跳ぶ。	・スピードを落とさないでリズムカルな助走ができる。 ・踏みきり足を決めて足の裏全体で強く踏みきり、遠くへ跳ぶことができる。	・幅跳びのポイントがわかり、自分の課題を見つけている。 ・めやす記録の決め方を理解し、自分の力に合っためやす記録を決めている。 ・遠くに跳ぶための練習方法を理解し、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の力に合った助走距離	・幅跳びに進んで取り組もうとしている。 ・幅跳びの行い方のきまりを守り、友達と励まし合っけて、練習や競走をしようとしている。 ・勝ち負けを素直に認めようとしている。 ・友達と協力して、場の準備や後片づけをしようとしている。

評価基準

教科	体 育	学 年	4 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
				- を決めている。 ・跳び比べのしかた(きまり)について知り、話し合っ - て決めている。	・場の安全を確かめようとして - いる。
走・跳の運動 高跳び	6	・短い助走から強く踏み切って跳び、決まりを工夫して跳び比べをしたり、記録に挑戦したりする。	・高跳びの行い方がわかる。 ・3～5歩程度のリズムカルな短い助走から踏み切り足を決めて上方に強く踏み切り、高く跳ぶことができる。 ・膝を柔らかく曲げて、足から着地することができる。	・高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・走り高跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、高く跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ・競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合っ - て決めたり、選んだりしている。 ・走り高跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・高跳びに進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 ・走り高跳びをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。
水泳運動	11	・いろいろな浮き方やもぐり方、簡単なクロールや平泳ぎをする。	・補助具を使ってクロールで泳ぐことができる。 ・補助具を使って平泳ぎで泳ぐことができる。 ・面かぶりクロールで泳ぐことができる。 ・面かぶり平泳ぎで泳ぐことができる。 ・呼吸をしながらばた足泳ぎ	・自分で立てためあてに挑戦し、自分の課題を見付けている。 ・補助具を活用したり、友達に補助してもらったりするなど、自分の力に合った練習の仕方を選んでいる。 ・友達のよい動きや、課題の解決のための動きの	・水泳運動に進んで取り組んでいる。 ・け伸びをする際に順番にスタートしたり、決まった場所で友達と練習したりするなど、きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付

評価基準

教科	体 育	学 年	4 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			で泳ぐことができる。 呼吸をしながらかえる足泳ぎで泳ぐことができる。	ポイントを見付け、言葉や動作で伝えている。 自分で試したいいろいろなめぐり方や浮き方を友達に伝えたり、互いのよい動きの真似をしたりしている。	けを、友達と一緒にしている。 - 互いの動きを見合ったり補助をし合ったりするときに見付けた動きのよさや課題について伝え合う際に、友達の考えを認めている。 - 準備運動や整理運動を正しく行う、バディで互いを確認しながら活動する、シャワーを浴びてからゆっくりと水の中に入る、プールの飛び込まないなど、水泳運動の心得を守って安全を確かめている。
ゲーム ゴール型（フラッグフットボール）	6	作戦を基に攻め方を工夫して、フラッグフットボールをする。	- フラッグフットボールの行い方がわかる。 - 味方にボールを手渡ししたり、パスを出したり、ゴールにボールをタッチダウンすることができる。 - ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。	- 誰もが楽しくフラッグフットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 - フラッグを取ったり、タッチダウンするための簡単な作戦を話し合ったり、選んだりしている。 - 課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	- フラッグフットボールに進んで取り組んでいる。 - 規則を守り、誰とでも仲よくしている。 - 使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 - 勝敗を受け入れている。 - 互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 - 使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

評価基準

教 科	体 育	学 年	4 学年
-----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
E ゲーム ネット型（キャッチバレーボール）	8	みんなで繋いで、落とすための工夫をして、キャッチバレーをする。	- キャッチバレーの行い方がわかる。 - いろいろな高さのボールを片手、両手をでキャッチしたり、パスをしたり、ねらったところに打ったりすることができる。 - 相手コートから飛んできたボールを片手、両手を使ってキャッチし、相手コートに返球することができる。 - ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。	- だれもが楽しくキャッチバレーに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 - 得点を多くあげるための簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 - 課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	- キャッチバレーに進んで取り組んでいる。 - 規則を守り、誰とでも仲よくしている。・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 - 勝敗を受け入れている。 - 互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 - 使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
ゲーム ベースボール型（ティーボール）	6	ボールを打って得点したり、ボールを取ってアウトにしたりして、ティーボールをする。	- ティーボールの行い方がわかる。 - ボールをフェアグラウンド内に打つことができる。 - 投げる手と反対の足を一歩前に踏み出してボールを投げるることができる。・向かってくるボールの正面に移動することができる。 - ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。	- 誰もが楽しくティーボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 - 攻め方や守り方の簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 - 課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	- ティーボールに進んで取り組んでいる。 - 規則を守り、誰とでも仲よくしている。 - 使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 - 勝敗を受け入れている。 - 互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを

評価基準

教科	体 育	学 年	4 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
					認めている。 使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
ゲーム ゴール型（グリッドサッカー）	6	パスやシュートをしながら、攻め方を工夫して、グリッドサッカーをする。	- グリッドサッカーの行い方がわかる。 - ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 - 味方にパスを出したり、シュートをしたりすることができる。 - ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。	- 誰もが楽しくグリッドサッカーができるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 - 得点を多くあげるために、シュートにつながる簡単な作戦を話し合ったり、選んだりしている。 - 課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	- グリッドサッカーに進んで取り組んでいる。 - 規則を守り、誰とでも仲よくしている。 - 使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 - 勝敗を受け入れている。 - 互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 - 使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
表現運動 表現「ジャングル探検」	5	ジャングル探検のいろいろな場面の特徴を捉えて、表したい感じを踊る。	- 表現「ジャングル探検に出发！」の行い方がわかる。 - 表現「ジャングル探検に出	表現「ジャングル探検に出发！」の動きのポイントがわかり、楽しく踊るための	表現「ジャングル探検に出发！」に進んで取り組んで

評価基準

教科	体 育	学 年	4 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			発！」ならではのふさわしい動き（草むらや暗い洞窟を進む、折れそうな橋を渡るなど）で特徴を捉えたりすることができる。 ・表現「ジャングル探検に出発！」の動きの誇張や変化の付け方として、表したい感じを、跳ぶ一転がる、素早く動く一急に止まるなど動きに差を付けて誇張したり、2人組やグループで対応・対立する動きで変化を付けたりして、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ・ひと流れの動きへの工夫の仕方としては、表したい感じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面など変化のある動きをつなげてメリハリ（緩急・強弱）のあるひと流れの動きに工夫して感じを込めて踊ることができる。	自分の課題を見付けている。 ・表現「ジャングル探検に出発！」におけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために考えたことや友達のよい動きを伝えている。	いる。 ・表現「ジャングル探検に出発！」に取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。
F 表現運動 リズムダンス	5	・ロックやサンバのリズムに乗って弾んで踊ったり、動きに変化をつけたり、友達と関わり合って踊ったりする。	・リズムダンスの行い方がわかる。 ・ロックサンバのリズムダンスにおいて、変化をつけた動きを入れながら、いくつかの曲を即興的に踊ることができる。 ・2～3人組でロックやサン	・ロックやサンバのリズムの動きのポイントが分かり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・ロックやサンバのリズムにおけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。	・リズムダンスに進んで取り組んでいる。 ・リズムダンスに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付け

評価基準

教科	体 育	学 年	4 学年
----	-----	-----	------

単元名	時数	単元の目標	評 価 基 準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
			バのリズムの特徴を捉えた動きや変化をつけた動きで踊ることができる。	・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫して考えた動きを一緒に踊るなどして伝えている。	を、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。